

第3章 最終評価の結果

I 結果の概要

84 目標項目について、その達成状況を評価・分析した結果を図表 1 にまとめた。A（目標値に達した）は 17 項目（20.2%）であった。B（現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある）は 19 項目（22.6%）で、そのうち目標設定年度までに目標達成見込みである目標は 1 項目（1.2%）、目標設定年度までに達成が危ぶまれる項目（B*）は 18 項目（21.4%）であった。C（変わらない）は 16 項目（19.0%）、D（悪化している）は 19 項目（22.6%）であった。また、E（評価困難）が 13 項目（15.5%）あった。

A と B をあわせて、42.8%の目標項目がベースライン（又は中間値）と比較して改善していた。また、中間評価（A：15.7%、B：12.9%、C：44.9%、D：12.2%、E：14.3%）と比較すると、C が減少し、A、B、D が増加していた。

図表 1 目標項目の評価状況

評価	項目数 (再掲除く)
A 目標値に達した	17 (20.2%)
B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある	19 (22.6%)
B* Bの中で目標年度までに目標到達が危ぶまれるもの	18 (21.4%)
C 変わらない	16 (19.0%)
D 悪化している	19 (22.6%)
E 評価困難	13 (15.5%)
合計	84 (100%)

図表 2 領域ごとの評価状況（※< >内は領域内における割合）

領域 評価	1 全体目標	2 生活習慣病の 早期発見と発症 予防・重症化予防	3 生涯を通じた 健康づくり	4 生活習慣の 改善	5 健康を支え 守るための 社会環境の整備	全体
A	1 <33.3%>	2 <13.3%>	2 <13.3%>	9 <20.5%>	3 <42.9%>	17
B (B*)		4 (4) <26.7%>	1 (1) <6.7%>	12 (11) <27.3%>	2 (2) <28.6%>	19 (18)
C	1 <33.3%>	2 <13.3%>	5 <33.3%>	8 <18.2%>		16
D	1 <33.3%>	5 <33.3%>	7 <46.7%>	4 <9.1%>	2 <28.6%>	19
E		2 <13.3%>		11 <25.0%>		13
合計	3	15	15	44	7	84

図表 3 各目標項目・指標の達成状況

区分	項目番号	指標番号	目標項目・指標項目	中間評価	最終評価				
					指標	項目			
1 全体目標									
平均寿命の延伸	1		◎平均寿命の延伸	-		A			
		1	平均寿命（男性）		A				
		2	平均寿命（女性）		A				
		3	65歳平均余命（男性）		A				
		4	65歳平均余命（女性）		A				
		5	75歳平均余命（男性）		A				
健康寿命の延伸	2		◎健康寿命の延伸	-		C			
		7	日常生活に制限のない期間の平均男性		C				
		8	日常生活に制限のない期間の平均女性		C				
20-64歳の年齢調整死亡率（全死因）の減少	3		◎20～64歳の年齢調整死亡率（全死因）の減少	-		D			
		9	男性（全国比）		D				
		10	女性（全国比）		D				
2 生活習慣病の早期発見と発症予防・重症化予防									
(1) がん	健康行動目標	4	◎がん検診受診率向上			E (参考D)			
			1	胃がん検診	C		E (参考C)		
			2	大腸がん検診	B		E (参考D)		
			3	肺がん検診	C		E (参考D)		
			4	乳がん検診	D		E (参考D)		
	環境目標	6	11	◎がん検診の充実			A		
				がん検診の事業評価を行っている市町村数（検診チェックリストの活用）	E-a	A			
				◎がん検診精密検査受診率向上				C	
				6	胃がん検診精密検査受診率	C			C
				7	大腸がん検診精密検査受診率	B			C
				8	肺がん検診精密検査受診率	B			C
9	乳がん検診精密検査受診率	B	C						
(2) 循環器疾患	健康行動目標	7	◎脂質異常該当者の減少			C			
			LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の割合						
			1	男性	E-a		D		
			2	女性	E-a		D		
		8	中性脂肪 150 mg/dl 以上の割合			D			
			3	男性	E-a		A		
			4	女性	E-a		A		
			◎メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少						
	メタボリックシンドローム該当者の割合			D					
	5	男性	A		D				
	6	女性	A		D				
メタボリックシンドローム予備群の割合									
7	男性	A	-						
8	女性	A	-						
メタボリックシンドローム該当者+予備群の割合									
(7)	男性	-	D						
(8)	女性	-	D						

区分	項目 番号	指標 番号	目標項目・指標項目	中間 評価	最終評価		
					指標	項目	
(2) 循環器疾患	健康行動 目標	9	◎メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を認知している県民の増加			B*	
			メタボリックシンドロームを認知している県民の割合				
		9	男性	C	B*		
		10	女性	B	B*		
		10	◎高血圧該当者の減少				D
			収縮期血圧値 140mmHg 以上割合				
	11		男性	E-b	D		
	12		女性	E-b	D		
	13	◎拡張期血圧値 90mmHg 以上割合			D		
		13	男性	E-b		D	
	14	14	女性	E-b	D		
		環境目標	再掲	◎健診受診率の向上【2-(3)-15】			B*
	特定健診受診率			B	B*		
	◎健診後の保健指導実施率の向上【2-(3)-16】				B*		
特定保健指導率			B	B*			
(3) 糖尿病	健康行動 目標	11	◎発症予防（有病者の増加抑制）			D	
			HbA1c（JDS 値）6.1%以上 8.0 未満の者の割合（服薬者含む）（※NGSP 値 6.5%以上 8.4%未満）				
			1	男性	E-b		D
		2	女性	E-b	D		
		12	◎重症化予防（血糖コントロール不良者の減少）			D	
			HbA1c（JDS 値）8.0 以上の者の割合（※NGSP 値で 8.4%以上）				
			3	男性	E-b		D
		4	女性	E-b	C		
		13	◎治療継続者の割合の増加			E (参考 C)	
			5	男性	C		E (参考 C)
	6	女性	C	E (参考 C)			
	14	◎透析導入患者の減少			A		
		7	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者の減少	B		A	
	環境目標	15	◎健診受診率の向上			B*	
			8	特定健診受診率	B		B*
		16	◎健診後の保健指導実施率の向上			B*	
9			特定保健指導率	B	B*		
(4) 肝疾患	健康行動 目標	17	◎肝機能異常者の割合の減少			D	
			γ-GTP 51U/L 以上の割合				
			1	男性	C		D
			2	女性	D		D
			3	男性	D		D
			4	女性	C		D
		5	◎ALT（GPT）31U/L 以上の割合			D	
			5	男性	C		D
	6	女性	C	D			
	環境目標	再掲	◎正しい知識の普及【4-(3)-55】			A	
			◎節度ある適度な飲酒量（1日平均純アルコールで約 20g 程度）を知っている人の割合の増加				
			男性	B	A		
			女性	B	A		

区分	項目番号	指標番号	目標項目・指標項目	中間評価	最終評価			
					指標	項目		
(5) COPD	健康行動目標	18	◎COPDの認知度の向上			B*		
			1	COPDを認知している割合	E		B*	
		再掲	◎喫煙率の減少【4-(4)-56】	成人の喫煙率の減少			B*	
				男性	C	B*		
				女性	C	B		
				◎妊娠中の喫煙をなくす【4-(4)-58】	B	B*		B*
		◎未成年者の喫煙をなくす【4-(4)-59】						
		再掲	◎未成年者の喫煙をなくす【4-(4)-59】	男性	C	A	A	
				女性	C	A		
		環境目標	再掲	◎禁煙施設認定推進制度の施設数の増加【4-(4)-13】			A	
		禁煙施設認定を受けた施設数	A	A				
3 生涯を通じた健康づくり								
(1) 次世代の健康	健康行動目標	19	◎健康的な生活習慣を有する子どもの割合の増加			C		
			1	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合(小5男子)	E-c		E(参考D)	
			2	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合(小5女子)	E-a		E(参考D)	
			3	朝食を欠食する児童生徒の割合の減少(小学生)	D		D	
			4	朝食を欠食する児童生徒の割合の減少(中学生)	D		D	
		20	◎適正体重の子どもの増加	肥満傾向(中等度、高度肥満傾向)にある子どもの割合(小5男子)	D	D	D	
				7	肥満傾向(中等度、高度肥満傾向)にある子どもの割合(小5女子)	A		D
				8	全出生数中の低出生体重の割合	C		D
		環境目標	21	9	◎食生活改善推進員が実施する各種教室等の開催数(子どもの健康に関すること)	D	D	D
			22	10	◎学校における食育推進担当者数(栄養教諭等)	C	C	C
(2) 働き盛り世代の健康	循環器疾患	23	◎脂質異常該当者の減少			C		
			LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の割合					
			1	男性(20~39歳)	C		D	
			2	女性(20~39歳)	C		D	
		24	◎メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少	メタボリックシンドローム該当者の割合			D	
				5	男性(20~39歳)	C		D
				6	女性(20~39歳)	C		D
				メタボリックシンドローム予備群の割合				
				7	男性(20~39歳)	C		-
				8	女性(20~39歳)	C		-
				(7)	男性(20~39歳)	-		D
				(8)	女性(20~39歳)	-		D
25	◎高血圧該当者の減少	収縮期血圧値 140mmHg 以上の割合			D			
		9	男性(20~39歳)	C		D		
		10	女性(20~39歳)	C		D		
		拡張期血圧値 90mmHg 以上の割合						
11	男性(20~39歳)	A	C					
12	女性(20~39歳)	C	D					

区分	項目 番号	指標 番号	目標項目・指標項目	中間 評価	最終評価			
					指標	項目		
(2) 働き盛り世代の健康	糖尿病	26	◎糖尿病発症予防（有病者の増加抑制） HbA1c（JDS）6.1%以上 8.0%未満の者（服薬者含む） ※NGSP 値 6.5%以上 8.4%未満			D		
			13	男性（20～39歳）	C		D	
			14	女性（20～39歳）	D		D	
		27	◎重症化予防（血糖コントロール不良者の減少） HbA1c（※JDS）8.0%以上の者の割合減少 ※NGSP 値で 8.4%以上			C		
			15	男性（20～39歳）	C		C	
			16	女性（20～39歳）	C		C	
	28	◎治療継続者の割合の増加	17	男性（20～39歳）	C	C	C	
			18	女性（20～39歳）	C	C		
	肝疾患	29	◎肝機能異常者の減少 γGTP51U/L 以上の割合の減少				D	
			19	男性（20～39歳）	C	C		
			20	女性（20～39歳）	C	D		
			21	AST（GOT）31U/L 以上の割合減少 男性（20～39歳）	C	D		
			22	女性（20～39歳）	C	D		
			23	ALT（GPT）31U/L 以上の割合減少 男性（20～39歳）	C	D		
24	女性（20～39歳）	C	D					
(3) 健康 高齢者の	健康行動 目標	30	1 ◎ロコモティブシンドロームの認知度の向上	-	B*	B*		
		31	2 ◎低栄養傾向（BMI 20 以下）の高齢者の割合の増加の抑制	E-a	A	A		
	環境目標	32	3 ◎シルバー人材センター会員数の増加	A	A	A		
		33	4 ◎食生活改善推進員が実施する各種教室等の開催数（高齢者の健康に関すること）	D	D	D		
4 生活習慣の改善								
(1) ①食生活	健康行動 目標	34	1 ◎主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の 日がほぼ毎日の者の割合	E	C	C		
			35	2 ◎適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの減少） 20～60歳代男性の肥満者の割合	A	E（参考D）	E （参考D）	
		3		40～60歳女性の肥満者の割合	A	E（参考D）		
		4		20歳代女性のやせの割合	C	E（参考C）		
		5		◎脂肪エネルギー比率の減少 20～40歳代の男女	D	E（参考C）		
		37	◎食塩摂取量の減少	6	1日当たりの平均摂取量（成人男性）	A	E（参考A）	E （参考B）
				7	1日当たりの平均摂取量（成人女性）	C	E（参考B）	
		38	◎野菜摂取量・果物の増加（成人）	8	野菜摂取量の平均摂取量	C	E（参考C）	E （参考C）
				9	果物摂取量の平均摂取量	A	E（参考C）	
				10	果物摂取量 100g 未満の者の割合	E	E（参考C）	
		39	◎朝食を欠食する人の減少	11	20歳代男性	C	E（参考C）	E （参考C）
				12	30歳代男性	C	E（参考C）	
	環境目標	40	13 ◎栄養情報提供店登録数の増加	B	B*	B*		
		41	14 ◎食生活改善推進員が実施する各種教室等の開催数（肥満及び生活習慣病予防に関すること）	A	D	D		

区分	項目 番号	指標 番号	目標項目・指標項目	中間 評価	最終評価		
					指標	項目	
① ②身体活動	健康行動 目標	42	◎日常生活における歩数の増加			E	
			1 成人（20歳以上）の男性の1日当たり歩数	D	E		
			2 成人（20歳以上）の女性の1日当たり歩数	C	E		
			3 20歳～64歳の男性	D	E		
			4 20歳～64歳の女性	C	E		
			5 65歳以上の男性	C	E		
		6 65歳以上の女性	A	E			
		43	◎運動習慣者の割合の増加			C	
			7 成人（20歳以上）の男性	C	C		
			8 成人（20歳以上）の女性	C	C		
			9 20歳～64歳の男性	C	C		
			10 20歳～64歳の女性	C	D		
	11 65歳以上の男性		C	C			
12 65歳以上の女性	C	C					
環境目標	44	13	◎総合型地域スポーツクラブの設置率の増加	C	B*	B*	
② ①休養	健康行動 目標	45	◎休養不足の低減			C	
			1 休養の「不足」と「不足がち」の人の割合を減らす	C	C		
		46	◎睡眠時間の確保			C	
	2 「平均睡眠時間が6時間未満」の人の割合を減らす	D	C				
47	◎休養睡眠の確保			C			
3 睡眠による休養が不足している人の割合を減らす	D	C					
環境目標	48	4	◎週労働時間60時間以上の被雇用者の減少			B	
			週間就業時間60時間以上の被雇用者の割合の減少	B	B		
② ②こころの健康	健康行動 目標	49	◎気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少			C	
			1 こころの状態に関する6項目の質問(K6)*1の合計点が10点以上の人の割合（20歳以上）	C	C		
	50	2	◎自殺死亡率（人口10万対）			B*	
			自殺死亡率の減少	C	B*		
			◎メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加				B*
3 こころの健康対策（メンタルヘルスケア）に取り組んでいる事業所の割合の増加	C	B*					
③ アルコール	健康行動 目標	52	◎生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少			D	
			1 男性（40g以上）	C	C		
		2 女性（20g以上）	C	D			
		53	◎未成年の飲酒をなくす				A
	3 男性（15～19歳）		C	A			
	4 女性（15～19歳）	C	A				
	54	5	◎妊娠中の飲酒をなくす	E-b	B*	B*	
	環境目標	55	6	◎正しい知識の普及			A
				節度ある適度な飲酒量（1日平均純アルコールで約20g程度）を知っている人の割合を増やす			
				男性	B	A	
7 女性	B	A					

※1 K6米国のケスラーにより、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、住民を対象とした調査で、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。

区分	項目番号	指標番号	目標項目・指標項目	中間評価	最終評価		
					指標	項目	
(4) タバコ	健康行動目標	56	◎喫煙率の減少			B*	
			成人の喫煙率の減少				
			1 男性	C	B*		
		2 女性	C	B			
		57	3	◎妊娠中の喫煙をなくす	B	B*	B*
		58	◎両親の喫煙率(1歳6ヶ月児健診)	4 父親	A	A	A
				5 母親	A	A	
		59	◎未成年者の喫煙をなくす	6 男性	C	A	A
				7 女性	C	A	
		60	◎知識の普及	喫煙や受動喫煙の健康影響に関する知識を持つ人の割合	A	A	A
	再掲 ◎COPD の認知度の向上【2-(5)-18】			E	B*	B*	
	61	◎喫煙者のうち禁煙しようと思う人の割合	9 男性	D	E(参考C)	E (参考C)	
			10 女性	C	E(参考C)		
			62	11	◎禁煙外来(診療)受診者数		D
環境目標	63	12	◎禁煙施設認定推進制度の施設数の増加	A	A	A	
	64	13	◎禁煙外来(診療)実施医療機関数の増加	A	A	A	
(5) 歯・口腔の健康	健康行動目標	65	(乳児期及び学齢期のむし歯予防)	B	A	A	
			◎3歳児むし歯有病者率の減少				
		66	2	◎仕上げ磨きを毎日している幼児の割合の増加(1.6歳児)	B	A	A
		67	3	◎食事やおやつ時間が決まっている幼児の割合の増加(1.6歳児)	C	C	C
		68	4	◎12歳児における1人平均むし歯数の減少	B	B*	B*
		69	(成人期の歯周病予防)	◎歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少			E (参考C)
				5 40歳代	C	E(参考C)	
				6 50歳代	C	E(参考C)	
		7 60歳代	C	E(参考C)			
		70	◎歯間部清掃器具を毎日使用する人の割合の増加	8 40歳	C	B*	B*
				9 50歳	C	B*	
				71	◎歯科医院で定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける者の割合の増加		
	10 60歳	A	E(参考B)				
	72	11	(歯の喪失防止) ◎60歳で24歯以上の歯を有する者の割合の増加	A	E(参考A)	E (参考A)	
	73	12	◎80歳で20歯以上の歯を有する者の割合の増加	A	E(参考C)	E (参考C)	
環境目標	74	(歯みがき実施の位置づけ)	C	D	D		
		◎学校での給食後の歯みがき実施(週時程に位置づけ)					
	13 小学校	C	C				
75	15	(フッ化物応用の推進) ◎1歳6か月児健康診査でフッ化物塗布を実施する市町村の増加	C	B*	B*		

区分		項目 番号	指標 番号	目標項目・指標項目	中間 評価	最終評価	
						指標	項目
の 健 康	環境目標	76	16	◎フッ化物歯面塗布を受けたことがある幼児の割合（3歳児）の増加	B	B*	B*
		77	17	◎フッ化物洗口を実施している施設の増加 ----- 保育所、幼稚園、（こども園）	B	A	C
				18	小・中学校・その他		
5 健康を支え守るための社会環境の整備							
健康を支え守るための 社会環境の整備	78	1	◎食生活改善推進員の人数の増加	-	D	D	
	79	2	◎食生活改善推進員協議会を設置している市町村数の増加		D	D	
	80	3	◎健康づくり推進協議会を設置している市町村数の増加		B*	B*	
	81	4	◎健康づくり推進員を養成(育成)している市町村数の増加		A	A	
	82	5	◎チャーガンジューおきなわ応援団登録数の増加		A	A	
	83	6	◎健康増進計画を策定している市町村の増加		B*	B*	
	84	7	◎職域や関係機関と連携した健康づくり事業を実施している市町村の増加		A	A	
計	84	168					

図表 4 評価別目標達成状況一覧

評価	項目数	目標項目	領域			
A (目標値に達した)	17 (20.2%)	◎平均寿命の延伸	全体目標			
		◎がん検診の充実		がん		
		◎透析導入患者の減少		糖尿病		
		◎低栄養傾向 (BMI 20 以下) の高齢者の割合の増加の抑制			高齢期	
		◎シルバー人材センター会員数の増加			高齢期	
		◎未成年の飲酒をなくす		肝疾患	アルコール	
		◎節度ある適度な飲酒量(1日平均純アルコールで約20g程度)を知っている人の割合を増やす		肝疾患	アルコール	
		◎両親の喫煙率(1歳6ヶ月児健診)				タバコ
		◎未成年者の喫煙をなくす		COPD		タバコ
		◎喫煙や受動喫煙の健康影響に関する知識を持つ人の割合				タバコ
		◎禁煙施設認定推進制度の施設数の増加				タバコ
		◎禁煙外来(診療)実施医療機関数の増加				タバコ
		◎3歳児むし歯有病者率の減少				歯・口腔の健康
		◎仕上げ磨きを毎日している幼児の割合の増加(1.6歳児)				歯・口腔の健康
		◎健康づくり推進員を養成(育成)している市町村数の増加				社会環境整備
		◎チャーガンジャーおきなわ応援団登録数の増加				社会環境整備
		◎職域や関係機関と連携した健康づくり事業を実施している市町村の増加				社会環境整備
B (目標値に達していないが改善傾向)	19 (22.6%)	◎メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している県民の増加		循環器		
		◎健診受診率の向上		循環器・糖尿病		
		◎健診後の保健指導実施率の向上		循環器・糖尿病		
		◎COPDの認知度の向上		COPD		タバコ
		◎ロコモティブシンドロームの認知度の向上			高齢期	
		◎栄養情報提供店登録数の増加				食生活
		◎総合型地域スポーツクラブの設置率の増加				身体活動
		◎週労働時間60時間以上の被雇用者の減少				休養
		◎自殺死亡率(人口10万対)				こころの健康
		◎メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加				こころの健康
		◎妊娠中の飲酒をなくす				アルコール
		◎成人の喫煙率の減少		COPD		タバコ
		◎妊娠中の喫煙をなくす		COPD		タバコ
		◎12歳児における1人平均むし歯数の減少				歯・口腔の健康
		◎歯間部清掃器具を毎日使用する人の割合の増加				歯・口腔の健康
		◎1歳6か月児健康診査でフッ化物塗布を実施する市町村の増加				歯・口腔の健康
		◎フッ化物歯面塗布を受けたことがある幼児の割合(3歳児)の増加				歯・口腔の健康
		◎健康づくり推進協議会を設置している市町村数の増加				社会環境整備
		◎健康増進計画を策定している市町村の増加				社会環境整備

評価	項目数	目標項目	領域			
C (変わらない)	16 (19.0%)	◎健康寿命の延伸	全体目標			
		◎がん検診精密検査受診率向上		がん		
		◎脂質異常該当者の減少		循環器		
		◎健康的な生活習慣を有する子どもの割合の増加			次世代	
		◎学校における食育推進担当者数（栄養教諭等）			次世代	
		◎脂質異常該当者の減少			働き盛り	
		◎糖尿病重症化予防（血糖コントロール不良者の減少）			働き盛り	
		◎糖尿病治療継続者の割合の増加			働き盛り	
		◎主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合				食生活
		◎運動習慣者の割合の増加				身体活動
		◎休養不足の低減				休養
		◎睡眠時間の確保				休養
		◎休養睡眠の確保				休養
		◎気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少				こころの健康
		◎食事やおやつ時間が決まっている幼児の割合の増加（1.6歳児）				歯・口腔の健康
		◎フッ化物洗口を実施している施設の増加				歯・口腔の健康
D (悪化している)	19 (22.6%)	◎20～64歳の年齢調整死亡率（全死因）の減少	全体目標			
		◎メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少		循環器		
		◎高血圧該当者の減少		循環器		
		◎糖尿病発症予防（有病者の増加抑制）		糖尿病		
		◎糖尿病重症化予防（血糖コントロール不良者の減少）		糖尿病		
		◎肝機能異常者の割合の減少		肝疾患		
		◎適正体重の子どもの増加			次世代	
		◎食生活改善推進員が実施する各種教室等の開催数（子どもの健康に関すること）			次世代	
		◎メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少			働き盛り	
		◎高血圧該当者の減少			働き盛り	
		◎糖尿病発症予防（有病者の増加抑制）			働き盛り	
		◎肝機能異常者の減少			働き盛り	
		◎食生活改善推進員が実施する各種教室等の開催数（高齢者の健康に関すること）			高齢期	
		◎食生活改善推進員が実施する各種教室等の開催数（肥満及び生活習慣病予防に関すること）				食生活
		◎生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少				アルコール
		◎禁煙外来（診療）受診者数				タバコ
		◎学校での給食後の歯みがき実施（週日程に位置づけ）				歯・口腔の健康
		◎食生活改善推進員の人数の増加				社会環境整備
		◎食生活改善推進員協議会を設置している市町村数の増加				社会環境整備

評価	項目数	目標項目	領域	
E (評価困難)	13 (15.5%)	◎がん検診受診率向上	参考 D	がん
		◎糖尿病治療継続者の割合の増加	参考 C	糖尿病
		◎適正体重を維持している者の増加 (肥満、やせの減少)	参考 D	食生活
		◎脂肪エネルギー比率の減少	参考 C	食生活
		◎食塩摂取量の減少	参考 B	食生活
		◎野菜摂取量・果物の増加(成人)	参考 C	食生活
		◎朝食を欠食する人の減少	参考 C	食生活
		◎日常生活における歩数の増加	-	身体活動
		◎喫煙者のうち禁煙しようと思う人の割合	参考 C	タバコ
		◎歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	参考 C	歯・口腔の健康
		◎歯科医院で定期的な歯石除去や 歯面清掃を受ける者の割合の増加	参考 B	歯・口腔の健康
		◎60歳で24歯以上の歯を有する者の 割合の増加	参考 A	歯・口腔の健康
		◎80歳で20歯以上の歯を有する者の 割合の増加	参考 C	歯・口腔の健康